

【図書館・情報学専攻】

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた総合的な能力の習得を図るために、以下に示す教育課程を編成し実施する。

- ・ 第2学年では、図書館・情報学の基礎的内容を取り上げた必修科目群の講義および演習を履修することで、図書館・情報学の基礎を広く学修するとともに、領域の広がり理解し、第3学年以降のコース別の学修への方向づけを行う。
- ・ 第3学年からは、下記の3つのコースのいずれかに属し、コースごとの必修科目、指定選択科目および選択科目を履修することで、専門領域の基礎的知識の習得を図る。

図書館コース 図書館や情報提供機関のサービスと運営を中心に、図書館司書等に必要とされる、社会において知識と情報を活用するための仕組みについて学修する。

情報メディアコース 情報メディアの社会的制度、技術特性、人間の認知を踏まえながら、情報メディアが社会で果たす役割について学修する。

情報検索コース 情報処理、情報管理などの諸活動および情報サービスに必要な不可欠な情報検索と情報組織化の基本的な考え方と技術について学修する。

- ・ 図書館・情報学専攻以外が設置する専門教育科目の履修を通して、幅広い視野と知識の習得を図る。
- ・ 指定された科目を履修することにより、司書資格を取得できるよう科目を配置する。
- ・ 第3学年から第4学年にかけて全員が研究会に所属する。研究会の担当教員の指導のもと、課題設定から課題解決、さらに成果のまとめや報告までを含めた卒業研究を課す。卒業研究は、中間発表や最終発表を含めて、複数教員による審査および審査項目の標準化などの指導体制のもとで実施することにより、総合的な能力の育成を図る。